

RSN

2008年度パチンコ依存問題電話相談事業報告書

借金返済よりも やめめる方法求める 9割がパチンコ以外のギャンブルやらず

パチンコ依存問題解決の支援を行うリカバリーサポート・ネットワーク(RSN・西村直之代表)が2008年度の電話相談内容の報告書を発表した。それによると、電話相談は全国で1187件に達した。電話をかけたのが本人である割合は年々増加。依存問題専用の相談窓口は、相談者に抵抗なく受け入れられているようだ。

RSNによると、2008年度の電話相談は全国で1187件(前年度比34.1件増。図1)。電話相談事業を開始した06年度以来、過去最高となった。1カ月に平均すると約99件。地域別に見ると、最も電話相談が多かったのは神奈川県(85件)。以下、大阪(79件)、静岡(75件)の順だった。(図2)。

一方で、1件も電話相談がなかったのは、福井県と徳島県であった。ただし、地域別の相談件数は啓蒙ポスターの添付や、新聞などマスコミの取り上げ方によって大きく変化するため、一概にこの結果が地域の「のめり込み」している人の数に比例しているとは限らない。電話相談回数は「はじめ」の人が約9割を占めた(図3)。

電話をかけてきた人(相談者)の内訳を見ると、本人の比率が74.3%(63%)と圧倒的に多い(図4)。本人の比率は06年度が43%、07年度が48%と年々増加傾向にある。その性別は男性、女性ではほぼ半々だった(図5)。ただし対象者(問題を抱えている本人)の性別では、男性が約7

割と過半数を超えた(図6)。これは遊技参加者の男女比と近似している。年代別で見ると、相談者、対象者ともに30代が多く、若い世代を中心に依存問題が広がっている。相談者の約8割はRSNに相談するまで、どこにも相談したことがないという人も多かった。どこに相談すればよいかわからずに悩んでいる人がそれだけ多いと考えられる。

対象者の9割以上がパチンコ以外のギャンブルはやらないと答えた。この特化性はパチンコ依存の特徴のひとつと考えられる。対象者の半数以上(54%)が借金をしていることもわかった。その内容は債務整理しても借金を繰り返している人か

ら、数万円をカードローンでキャッシングしている人まで様々。借金はしないものの、給料やボーナスを全部つぎ込んでしまい、将来への不安を感じながらもやめられない人が少なくない。相談内容では「やめる方法、やめさせる方法」がトップだった(図10)。

多くの相談者が借金をしながら、その返済方法よりも、パチンコをやめられないので、地元で相談できる場所を教えてください。パチンコにのめり込んでいる家族の対応に困り果てた」という相談をする人も多い。このような現象を見る限り、依存問題専用の相談窓口は、相談者に抵抗なく受け入れられているようだ。

11。圧倒的に多かったのは「ホール内のポスター」だった。また、インターネット経由で相談につながるケースも増加している。本人の相談経路においても、ホール内ポスターが最も多く約7割を占めた。全日遊連が定期的に組合ホールに配布しているRSNの啓蒙ポスターが、大きな役割を果たしているようだ。

ただし、家族・友人などの相談経路となると、新聞やインターネット経由が最も多かった。マスメディアの情報は、家族

図8。男性では10代、20代でパチンコを始めた人が全体の約9割を占めた。その一方で女性は約4割にとどまっている。男性に比べ女性はその年代からでもパチンコを始めていた傾向がある。ではパチンコを始めていつ頃から問題化したのか(図9)。男女ともに1、2年以内という回答が最も多く、全体の約3割。10年以上長期的に問題化しているケースも全体の約2割を占めた。RSNでは「問題が長期化するにつれ深刻化するが、のめり込んで短い期間でも同様に深刻化するケースもある」と分析している。

対象者の9割以上がパチンコ以外のギャンブルはやらないと答えた。この特化性はパチンコ依存の特徴のひとつと考えられる。対象者の半数以上(54%)が借金をしていることもわかった。その内容は債務整理しても借金を繰り返している人か

や友人には有効な伝達手段であるものの、依存問題の当事者には直接届きにくく、ホール内のポスターが当事者への情報伝達に有効であることがわかる。

対象者がホール内ポスターを見て相談につながった件数を都道府県別で見ると、最も多かったのは神奈川県で49件。以下、静岡県(48件)、兵庫県(47件)と続く。過去3年間の総数では大阪府、兵庫県、神奈川県が上位に入っている。メディアで電話相談事業を取り上げられた地域や、店

パチンコは、適度に楽しむ遊びです。

パチンコがやめられない...どこに相談していいかわからない...ひとりで悩まずに、お電話ください。

リカバリーサポート・ネットワーク

050-3541-6420 (全国フリーダイヤル)

http://www.geocities.jp/rsnokinawa/

パチンコ依存の防止を図る啓蒙ポスター

ギャンブル問題研修会を開催

RSNは5月27日、神奈川県横浜市で「ギャンブル問題初歩編」と題した研修会を行った。フォーラムには援助職者および医療、金融相談関係者、ホール関係者など30名ほどが参加。午前の部では、参加者が5名ほどのグループに分かれ、ひとつのケースを題材にして、検討会を行った。その後、「2008年度パチンコ依存問題電話相談事業報告所」をテーマに、西村直之代表による講演も行われた。



左から講師を務めた安藤真弓氏、稲村厚氏、中村厚氏、西村直之氏

検討会ではまとめた意見をグループごとに発表

研修会では、講師を務めた安藤真弓氏、稲村厚氏、中村厚氏、西村直之氏ら3名による講演も行われた。午後からは、ワンダーポートの中村厚施設長ら3名による講演も行われた。

◆RSN(リカバリーサポート・ネットワーク)
リカバリーサポート・ネットワークは、全日遊連の支援により06年4月に設立された、パチンコ依存問題についての非営利の相談機関。パチンコ依存に悩む人やその家族の相談に電話で応じるほか、パチンコ依存の調査・研究や相談員の養成、支援活動の配信・広報などを行なう目的で設立された。
電話相談は月～金(土日祝祭日除く)、午前10時から午後4時まで。
TEL.050-3541-6420 http://www.geocities.jp/rsnokinawa/